



hida

報 廣

ひだ

町 木



第 4 号
肥 田 町
郷 づ くり 委 員 会 行
H9. 2. 1 発 行

「地域福祉を大切に」

私のような未熟な者が、民生・児童委員の大役を仰せつかって一年余り、お陰様で大過なくすごさせて頂けましたのも皆様方のご理解、ご支援の賜と心より感謝申し上げます。省みますと昨年は、町づくり行事のあいさつ運動、夏休みのラジオ体操への参加、幼児や小学生対称の手づくりおもちゃ作り教室などにも参加させて頂き、ふれあいの大切さを実感致しました。又老人福祉の面では、高齢者家庭への消防署からの無料防火点検のすすめ、又長寿対策係へ申請して居りました、緊急通報システムの取付等と同行致しました。独居老人で持病のある方の心細さを少しでも和らげられたのではないかと思います。しかし日頃からお隣同志無事の確認を行い、いざという時は誰でも協力出来る心の準備とその技術を備えて置きたいものです。

昨年、稲枝の社会福祉協議会の介護講座が開かれました。肥田町からも多数の受講者が熱心に体験学習に取り組んで下さいました。大変心強くうれしく存じて居ります。誰でもいつかは老いて介護する側から、される側になりましょう。人をいたわる気持ちとは何と云っても、目の前の家族愛がしっかりと育っている事が大切で、子供の頃から人への思いやりを重ねさせる事が親の役目でもあるうかと感じている次第です。

新しい施設や介護して頂ける人もたくさ

ん出来ず事は、老人や病人にとり大変心強く有り難い事ですが、老人の本音の願いは、長い年月住みなれた我家で家族に囲まれた生活を望まれていると云う事を心にとどめ、温い目で見守ってあげたいものです。今年も、私にとっては更に勉強の年とうけとめていきます。どんな小さな事でも困った時はご相談下さい。ご一緒に考え、喜び合える方向をみつけ出していきましょう。どうぞ本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

民生児童委員 藤野 英子

老人と子供の年忘れ会

去る12月23日、肥田町、老人と子供の年忘れ会が行われました。町内の多くのお年よりと子供たちがふれあいを通して、いっそう明るい、楽しいまちづくりをすすめようと計画されました。講師は、市内の岩松先生のご指導で、折紙でサンタクロース、新聞紙による花づくりなど、老人と子供が一緒に班をつくり楽しく手づくりにはげました。又、先生のアコーデオン伴奏で、「お正月」「クリスマス」など昔なつかしい歌を共に合唱し、先生の巧みな手品など盛たくさんのプロگرامで、老人会のみなさんと子供たちが一つになつて、とても楽しく、にぎやかなひと時を過ごすことができました。

午後は、子供会のクリスマスパーティーを開き、映画鑑賞やケーキを食べ、有意義で楽しい一日でした。地域の中で、いろいろな人

との交流を通して、心豊かな子どもに育ってほしいと願っています。今後ともみなさまのご指導とご協力をお願いします。

子ども会長 藤野 隆司



文化財防火訓練を

実施して

去る1月26日、火災防衛訓練を実施し、以前より団員一同が心配していたように、自然水利の不足を改めて痛感しました。早速、自警団では緊急の場合、何時でも河川の流水をせき止めるよう、土のうを約10個、消防倉庫に配備しました。また、東町南側のポンプの操作についても団員に周知しました。

しかし、何といつても、現在の水量では火災時に到底十分な水量ではありません。また先般、公民館横に防火水槽が設置されたが、容量も肥田町すべてをカバーすることはできず大いに思慮される状況です。

現在、郷づくり委員会でも、肥田町裏川に年間を通じて水を確保する計画をすすめて

頂いているが、是非、早期の実現をお願いしたい次第です。

未だ寒い日も多いと思います。町民各位には、火元に十分な注意をお願いします。

「便利さに、慣れて忘れる、火のこわさ」

自警団長 成宮 克豊



お誕生おめでとう

(平成8・1月～12月)

なまえ	生年月日	父の名
菜穂ちゃん	平成8.5.14	元持光正さん
晴香ちゃん	8.6.8	前田 均さん
紘平ちゃん	8.9.21	森野 勉さん
翔ちゃん	8.12.10	鶴野真明さん
和ちゃん	8.6.29	成宮伊佐夫さん
高瀬英彦さん		佐和子さん
青木祐樹さん		希与子さん
藤野真紀さん		(好弘氏長女) 京都市へ

緑 風

昭和34年以来肥田を離れて38年になりますが、名古屋、三島、東京と転勤し現在大津瀬田に住んでいます。肥田について思うとき、二つの事について書かせてもらいました。

交通の基幹である東海道線と国道八号線などがない時代に中山道と朝鮮人街道に狭まれた「肥田村」は三町と一地方の農村落としては比較的珍しい整然と区画された街並みだと思えます。今に言う市街化区域と調整区域の様な行政面の街作りの方針があったのでしょうか。もしそうだとしたら先人の遺産として貴重だと思えます。肥田城などの影響で周囲を土塁で囲み城下町風に住居が定められたのでしょうか。然し、一方今から三百年前の聖徳時代には出稼ぎ者が多かったと言う記事があり生活の一端が伺えます。(日本地名大辞典・滋賀県) また昔にしては道幅が広く車社会の今日でも有効に活用されています。しかしながら登り町の東西の入口が狭いのは何故でしょうか疑問です。最近どこでも開発、近代化の名のもとに各地で住居化が進んでいますが旧「肥田村」の街並みは個人の財産権の問題もありますが残しておいてほしいものです。

もう一つの思いは上町と登り町で祭事が違うことです。小さい時からなぜ二つに分れているのだらうと思っていました。理由について肥田町史に説明がありますが荘園以前の事については判りません。行政面ではずっと「肥田村」一つののに祭事のみ二つに分れています。古代の政治の型である祭政一致のせ

いではないかと考えます。古代の荘園の力を行政では変更できなかった例として考えれば興味を沸かします。時々県立図書館に行きますが郷土の書架に肥田町史を発見し喜んでいました。編集委員の方々の努力にお礼を申し上げます。皆様の御健勝を祈ります。

大津市在住 伊関正太郎

子ども文庫

子ども文庫に参加して

(カンガルークラブ母親) 連載

自分が選んだ、自分の好きな本を借りて一生けんめい読んでいます。また、毎日少しの時間ですが楽しく本を読んであげています。お話を本を通して心豊かな子どもになってくれたらと願っています。子ども文庫が開かれるまでは市立図書館まで行っていましたが、町の公民館で本と出合えるので、親子共々とても喜んでいました。

また、紙芝居など見る機会は殆んどないので、子どもは楽しみにしています。幼い頃から、自然に本に親しめることを大切にしていきたいと思っております。

伊関 由美

子どもは毎月の紙芝居を楽しみにしています。お話を聞くのが大好きで、特に紙芝居は興味があるようです。子ども文庫でお話を聞くようになって、市立図書館でもお話や紙芝居をよくみるようになりました。とくに集中力がついてとても喜んでいました。

本もよく見るようになり、いつも3〜4冊を借り、家に帰るとすぐに「読んで」とい

って熱心に聞きます。また、自分で聞いたお話を家族にも話を聞かせてくれるなど楽しみです。

薩摩 恵子

子育てに想うこと

三人そろって元気で丈夫に育っている娘たち、最近、姉妹間の口げんかも知恵がつくにつれて激しいものになり、聞いている私の方がハラハラすることもありますが、娘たちには多くの経験やたくさんのお話を通して、自分を磨いてほしいと思っています。

あと何年になるかはわかりませんが、三人三様の個性を受けとめて、いっしょにドキドキしながら成長してゆきたいです。

辻野由美子



万葉歌碑の傍に

歌詞植物を植樹

「白真弓斐太の細江の菅鳥の
妹に恋ふれか眼を寝かねつる」

(万葉歌・三〇九二)



文化財保存・世代交流事業部

「肥田町史」の補足資料として、「肥田町の小字名」と「幻の肥田城を検証する」「肥田町史年表」を別紙でお届けします。

肥田町史年表「幻の肥田城」についてはご意見をお寄せいただきたいし、約八〇ある「肥田町の小字名」については無形の文化財でもあり、親から子への伝承をお願いします。

斐太(肥田)の斐(引く)にかかる枕詞(まくらことば)に、「白真弓」＝白檀「まゆみ」が使われているところから、昨秋暮に「まゆみ」の木の寄贈をうけ歌碑の傍らに植樹しました。その材は丈夫で弾力性もあり古代から弓材に使用されました。



hida

広報

ひだ

町木



第5号

肥田町 郷づくり委員会 発行
H9. 5. 1

「二十一世紀に向かって」

肥田町自治会長 藤野 泰弘

日頃は、自治会活動につきまして、格別のご支援を賜り、ありがとうございます。此の度、未熟なる私が平成九年度の自治会長という重責をあずかることになり、誠に恐縮、緊張いたしております。

今まで私は、凡そ四十三年にわたる企業人生活、実にきびしい企業競争社会に身をおいて参りましたが、今、静止する時間も得られ、改めて自然と社会と人間との触れ合いを、新しい視点で見つめ直し、いささかなりとも私なりに、郷里へのお役に立てればと、新鮮な気持ちに立っております。幸いにも、私達には、肥田町史に伝えられた個性豊かな歴史と伝統がございます。先輩諸氏の築かれたその歴史の重さは、しっかりと胸に受け止め、一方では今日、第二の開国とも云われる周辺環境の大きな変化とその速さをにらみながら、一歩、一歩皆さんとともに歩んで参りたいと思っております。誠に微力な私ですが、一層のご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、二十一世紀、西暦二〇〇〇年も目前となって来ました。大きくは、国際社会における日本の在り方を問われ、政府も政治、経済、社会面で急いで外科手術を行ううとしています。高齢化、少子化傾向も大

大きく問題視されています。

ところで肥田町でも既に、高齢化率は24%と彦根市平均14%（全国平均14%）を大きく上回り、超高齢化社会として、身近に危機感を感じている次第です。行政では、公的介護保険制度等の対応が、スタート間近ですが問題点も多く、私達地域住民としては、制度への依存より第一に、自衛こそ大切だと思えます。当然、これからの郷づくりにも重要なテーマでもあり、先ず、自治会としてこれに接近し、町ぐるみで福祉の心のネットワークづくりから取り組む時と捉えたいと思っております。これまでの先輩諸兄が努力を重ねられた運営の路線を踏襲しながら、プラスして環境、安心、安全、健康の方向を更に少しでも、手探り出来ればとおもっています。コミニケーションの時代から助けあいの時代へと申しますが、町民皆様と一緒にご協力し、共感のいただける健やかで住み良い町へと歩んで行くにはありませんか。是非とも新しい役員スタッフへの倍旧のご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

荘厳さを増した

金刀比羅神社

昨秋、本殿屋根修復工事について、皆様

に提案し、ご賛同を得ましたこの工事も順調に進捗し、過日完工を向かえました。

朝日に燦然と輝く本殿を見上げてある古老の一人は「心も安らいで清々しい気分ですネ」と言っておられました。今年は篤志者によって職竿も新しく、アルミ製のポールのご寄進をいただきました。

伝統文化や神事が継承してゆく中、万民守護と町内の安全をお祈りしたい一念です。

宮世話・森野 勝



元気に新学期

ピッカピッカの一年生
今年の一年生は七名です。元気一はひ。稲枝東小学校のよい子になっってください



伊関 寛英くん



薩摩 祐大くん



中山 彦人くん



伊関 悠佳さん



薩摩 早紀さん



辻野 朝子さん



成宮 まゆさん

●28名の小学生、13名の中学生のみならず、元気ががんばって下さい。

お誕生おめでとう

なまえ 生年月日 父の名
智大ちゃん 平成8・10・24 筒井隆智さん

ご結婚おめでとう

藤野人美さん 康江さん(平成9・3・20)

風 緑

肥田を離れ、会社勤めを始めてから三十八年、仕事の関係で全国各地を訪れたが、「どちらのご出身ですか」と聞かれると「瞬ためらうことがあった。「滋賀」と答えると「さすが近江商人」と警戒気味の反応があったり「彦根」といへば「石田三成」「井伊直弼」と余りよいイメージを持ってくれなかったり、「鮎鮎だけはどうぞ」という人が多く、郷土自慢の話題探しに困ったからである。

時代とともに歴史観も変わってきたこともあり、私自身も年を重ねるとともに、気兼ねなく積極的に近江商人気質を説いたり、近江の歴史・風土・人物の宣伝もできるようになって、「滋賀・近江出身です」と、むしろ誇りをもって言えるようになりました。

私も昨年還暦を迎え、現役期間も残り少なくなってくると、郷里や旧友への思いが大きくなっていることに気付いた。そんな時、「肥田町史」を拝見し、郷里に関する認識不足やご無沙汰していることに恥じる思いがした。

その頃、荒れた空き家の実家に狐五匹の家族が住み着いていることを聞き、町の美観上も目障りだし、近隣の方にも迷惑をかけていることを知った。

そこで、鬱蒼とした藪の整地と小さいながらも家を立て替えることを思い立った。住める家を作れば、親族を招き法事もできるし、近江の名所・旧蹟を巡るときの拠点にもなり、帰る機会も増えて、少しなりとも疎遠の解消になる、息子の代になっても、郷里との最小限のつながりを保つてくれると期待している。

学生時代の同級生が社長をしている建設会社に一切を任せられたが、その社長は古い田舎町でありながら、道路が広く、縦横真つすぐなのに驚いていた。私は、「肥田町史」のおかげで、歴史の一部を語り、肥田町自慢ができたことをうれしく思う。

千葉県松戸市在住 加藤 貞一

郷づくり環境事業部 平成8年度 第二回宇曾川堤防の清掃 実施される



去る3月23日、午後1時より郷づくり委員及び自治会役員との合同による、宇曾川堤防並びに河川敷の一斉清掃が行われました。(国道8号線より聖泉短大まで) 前回に比べ量的にはやや減少傾向ではあったが、依然と

して、空きかん、びん、コンクリート等不燃物の不法投棄があり処理に手間取ったが、全員の努力により約3時間で見違えるほど美化されました。ご苦労さまでした。

平成9年度 郷づくり委員会相談役

- 自治会長 藤野 泰弘
- 改良組合長 藤野喜代蔵
- 老人会会長 児玉 喜内
- 婦人会会長 西田 操
- 消防自警団長 成宮伊佐夫
- 中学PTA町会長 藤野 眞理
- 子供会会長 元持 清
- カンガルークラブ会長 薩摩 恵子
- 上町公民館長 薩摩 敬造
- 登町公民館長 山本 利昭

子ども文庫

本の「読み聞かせ」

家では、いつも「本を読んで」と言うので長男が三才の頃から、夜、ベッドに入った親のどちらかが本を読んでやります。読み終わると「ありがと、また読んでな。」はい、「おやすみ」の会話で一日が終わります。

二人の子供に、どうか読書に親しみ、よい子に育ってくれるよう、本の「読み聞かせ」を続けています。お陰で、内容は一べんで頭に入る様子でいろいろな話をしています。

これからも、「お母さん、もう読んでくれないわ。」という日まで読み続けてや

りたいと思っています。

薩摩 洋子

話を頭の中で 絵に置き替える

子供の記憶力は素晴らしいと思います。毎日同じ物語を聞かしていると、小さい子供でも覚えて、反対に私たちに一生懸命聞かせてくれる。ずっと以前の私の勝手な作り話でも子供の心に残っていた事に感動しました。

どうも子供には話と言うより絵に置き替えるという、大人には真似しにくいことが純粋な子供にはできるのである。私は子供に話を聞かせる時、今子供の頭の中にどんな絵が広がっているのだろうと考えると、とてもうれしくなる。

伊関 美喜

子育てに思う

最近、花を育てる事を始めましたが、なかなか思うように育つばかりではありません。

けれどある日、集団登校途中で花にイタズラする友人に「ほくのお母さんの大切にしている花や。したらあかん」と、注意する我が息子を……また、ある日「お母さん、お花がお水欲しいって」と、水やりをしてくれる娘を見ることができました。

子育ても花の世話も簡単ではないけれど、とにかく毎日の色々を、自分なりに一生懸命がんばろうって「子育て」ではなく、子供と一緒に育っていくのだと、花に教えてもらいました。

成宮 好美